

次なる
茨木へ。

平成30年は市制施行70周年

お気に入りの本を持ってでかけよう!

5.26 SAT.
9:30-16:00

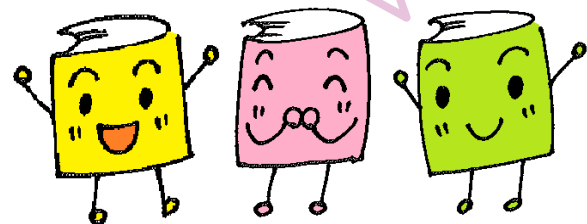
BOOK TRAVEL

@ 元茨木川緑地

緑の中でよみたい本 **ブックリスト**



緑みどりの中なかでよよんでみみたい本ほんがいいっぱいいののってっるるよ。
 リリゾゾーートト、ササフフアアリリ、オオリリエンエンタルタル、シシテイテイって
 言ことばばで、連れん想そうする本ほんもたたくくささん!
 おお気きにいりいの本ほんがみみつつかかるるかかも!





『ねんね』

さえぐち ひろこ／著

いろいろな動物たちがいろいろな場所で気持ちよさそうに眠っている様子
がかわいらしく、心和みます。【M】

『いそがしいよる』

さとう わきこ／著

子どもの頃から好きな本のひとつで、読みかえすたびに外でのんびりする
のがステキだなと感じられる一冊です。【椿】

『ねことじいちゃん』

梅田 俊作／著

ねことじいちゃんのほっこりな日常に、緑の中で、よりリラックスできる
はず！！です。やさしい水彩画のような絵とわかりやすい日々心癒されま
す。【フレンチブル】

『はっぱのおうち』

征矢 清／著 ・ 林 明子／画

草花に囲まれた小さな空間が理想の秘密基地でわくわくする絵本【N】

『そよそよさん』

仁科 幸子／著

春ってどこから、どんなふうによってくるのでしょうか。森の木や花たち、動物たち、冬の
寒さで眠っていたものが、そよそよさんのあたたかく優しい力で目を覚ましていく。。。絵
の色あいもほっこり。。。ぜひ親子でいっしょに手に取ってぬくもりを感じてもらいたい一
冊です。



『わたしのワンピース』

にしまき かやこ／著

心がおどるお話です。【えだまめ】

『森の絵本』

長田 弘／著 ・ 荒井 良二／画

みどりいっぱいにつつまれて、目と耳めみみをすませてごらん。森がなにかを語りかけてくるよ。

『はらぺこあおむし』

エリック・カール／著 ・ もり ひさし／訳

緑みどりと言われて真まっ先さきに浮うかんだこの本ほん。あおむしが食たべたいろんなもの、屋台やたいで出でているだろうか？

『ロンパーちゃんとふうせん』

酒井 駒子／著

【K】

『バムとケロのもりのこや』

島田 ゆか／著

・一度は「ひみつきちを作りたい」そう思ったことはありませんか？このお話は野莓狩りほなしのいちごがをしていたバムとケロが森で小屋もりこやを発見はっけんし、自分たちのひみつきちにしよう！というあらすじです。本ほんの中なかにでてくるキャラクターもかわいく、よく見ると小さな動物ちいどうぶつもいるよう
な・・・？なんど読んでも絵本えほんの中なかに新しい発見あたらしはっけんがある、そんな一冊いっさつです。【霜月】

・大好きな絵本です。一度目はストーリーを、2度目はかわいいイラストをじっくり楽しんでみるのもいいです。時間なんて気にしないでいろんなページに隠れている小さなかわいいキャラクターをみつけてください。【かいちゃん】



『森はオペラ』

姉崎 一馬／著

この本をめくると、森の中から木々達の唄うような声が聴こえてくる気がします。耳をすましてみてください。ほら！この緑地でも木々達のメロディーが聴こえてくるかも？！【ぐるんぱ】

『真昼の夢』

セーラ L. トムソン／著 ・ ロブ・ゴンサルヴェス／画 ・ 金原 瑞人／訳

幻想的で絵画のように美しい絵本です。日常が別の世界につながっていくようなふしぎな気持ちになります。【ふ】

『アフリカの大きな木バオバブ』

ミアム・モス／著 ・ エイドリアン・ケナウェイ／画 ・ さくま ゆみこ／訳

アフリカにある大木のバオバブの存在を考えさせられるお話です。自然や生き物たちを守り、雄大な自然の中で描かれています。又、色彩や鮮やかさに加え、実に細かいところまで描かれ、魅力的なケナウェイの絵にも吸いこまれます。生命のすばらしさも教えてくれます。【トモトモ】

『さかさのこもりくんとおおもり』、『さかさのこもりくんとてんこもり』、 『さかさのこもりくんともりもり』

あきやま ただし／著

コウモリの話す言葉なので、全てが逆サマです。全て借りて子どもに読み聞かせしました。逆さまに読んでみると大人も楽しくなってしまう絵本です。

『大きな木のような人』

いせ ひでこ／著

パリの植物学者と日本人の女の子の交流を描いた絵本。緑色と一口に言っても、いろいろな色があるんだなと感心しました。【まろん】



『おおきな木』

シェル・シルヴァスタイン／著 ・ 村上 春樹／訳

大人にこそ是非読んでみてほしい絵本です。しずかな場所で、ゆっくりお茶でも飲みながらいかかですか？【大人だって児童書を読んでみませんか？】

『きかんしゃトーマスとびだせ！友情の大冒険』

ウィルバート・オードリー／原著

『森とおばあさん』

五十嵐 深月／著 ・ 永田 萌／画

永田萌さんの描く森の緑が鮮やかで、おばあさんが元気でかわいくて、胸がきゅんきゅんする絵本です。他の森の童話大賞の本もおすすめです。【おばあさん】

『木のすきなケイトさん』

H. ジョゼフ・ホプキンス／著 ・ ジル・マケルマリー／画 ・ 池本 佐恵子／訳

親子で楽しめる本（絵本）です。ケイトさんが愛した緑（木や森）の中でぜひ読んでいただきたいです。【ケイトさんの友だち】

『生きる』

谷川 俊太郎／著 ・ 岡本 よしろう／画

谷川氏の詩の絵本化。くり返される「生きているということ、いま生きているということ」ということばが印象的、風を感じながらゆっくりとページをめくって下さい。【H】



『みどりいろのたね』

たかどの ほうこ／著

読み終えたあと、お話に出てくるみんながにっこりしてしまう温かいお話です。【ご】

『おとうとねずみチロのはなし』『おとうとねずみチロはげんき』 『おとうとねずみチロとあそぼ』

森山 京／著 ・ 門田 律子／画

小学1年生の国語の本にでてくる『おとうとねずみチロ』。実はたくさんのシリーズがあります。本といっしょに森の中をたんけんすると、とってもかわいいチロに出会えるかも……。ぜひ、読んでくださいね【がっこうのせんせい】

『ぼくのはね』

梅原 大輔／著

はるにれの木に住むりすのころのお話です。鳥の羽を78枚も集めているころは、からすにねらわれた赤ちゃんを羽を使って助けます。小さい頃の思い出の絵本を、気持ちのよい緑の中で読みたいです。

『女の子って。1』

カナヘイ／著

大きくなった自分がたしかめる？

『知ってたのしいみてなるほど 野の草なまえノート』

いわさ ゆうこ／著

野山で見かけることのできる草花を、イラストと写真で紹介している本です。草の特徴がわかりやすいイラストと写真の両方によって特徴をよくつかむことができます。足元に生えている草はどんな名前なのか、調べながら読みたい本です。【朝霧】



『森は生きている 新版』

富山 和子／著

日本人がどうやって自然と向き合ってきたかを考えてみてください。

【i. b. m】

『観察が楽しくなる美しいイラスト自然図鑑』

ヴィルジニー・アラジディ／著

ヨーロッパをはじめ世界の57の樹木を紹介しています。丁寧にくわしく描かれたイラストが美しい本です。緑の中で読むのにピッタリな本です。【T】

『ハイジ』

ヨハンナ・シュピーリ／著

アニメ「アルプスの少女ハイジ」を観たことのある方は多いはず。この本はそのアニメの原点となる一冊です。挿絵が繊細で美しく読み応えもあるので大人の方にもおすすめです。ぜひ、原っぱを駆け回るハイジの気持ちを想像しながらご覧ください！【Y. N.】

『ちいさなちいさな王様』

アクセル・ハッケ／著

小さな王様が家にいたら……。きっとこんな感じです。絵も綺麗で楽しめます。読み終わる頃には、ちいさな王様に会ってみたいと思わせる本です。【F】

『虹へのさすらいの旅』

芝田 勝茂／著

児童書ですが、読後がこちよく青空の下で深呼吸したくなります。

【K】



『恐竜の谷の大冒険』

メアリー・ポープ・オズボーン／著

マジックツリーハウスシリーズ。

児童書ですが、子どもに読み聞かせているうちにシリーズすべて制覇しました。題名のとおり、森の中にあるマジックツリーハウスで様々な時代の様々な場所へ冒険に、旅に出る話です。緑の中で読むと物語の主人公と一緒に冒険できる気分になれるかも…。【hana】

『青いいのちの詩 世界でいちばん遠い島』

折原 みと／著

小笠原諸島を舞台にした作品です。不登校児のユウが小笠原諸島での出来事、生き物たちに触れ心身ともに成長していくお話です。ぜひ自然の中で読んでいただきたい一冊となっています。【玉】

『ささやかな魔法の物語 カフェ・かもめ亭』

村山 早紀／著

水彩画のように繊細できらきらしたお話がたくさん入っている本です。子どもの頃に読めばきっと思い出に残り、大人には、ほっとする気持ちを思い出させてくれる。そんな本だと思います。【古本屋 文吉】

『サトミちゃんちの1男子 1』

こぐれ 京／著

『みずのたび』 かがくのとも 521通号 20120801日号

かつて、ここ元茨木川緑地はその名前のとおり、川が流れていました。この本に出てくるのは滋賀県の安曇川ですが、緑の中であなたも一緒に水の旅に出かけませんか。【ぐるんぱ】



『はちうえはぼくにまかせて』

ジーン・ジオン／著 ・ マーガレット・ブロイ・グレアム／画 ・ もり ひさし／訳

子どもの頃からずっと大好きな絵本。この本が好きでガーデニングにはまったと言っても過言でない。リゾートへ行けなかったぼくが主人公です。

【りんご】

『はじめてのやまのぼり』

美智子／著 ・ 武田 和子／画

皇后さまの流れるような美しい文章を味わってください。【リスキチ】

『サンタのなつやすみ』

レイモンド・ブリッグズ／著 ・ さくま ゆみこ／訳

さむいのが、きれいなサンタクロースが、バカンスに行くのですが、行った先々で子ども達に正体がバレてしまい大騒動。さてサンタクロースはどうするのでしょうか？【大人だって児童書を読んでみませんか？】

『はじめてのキャンプ』

林 明子／著

はじめてのキャンプで感じたワクワクを思い出してみてください。

【i. b. m】

『ウミガメものがたり』

鈴木 まもる／著

日本の浜辺から遠いカリフォルニアへ、子ガメの成長の絵本です。絵も大変キレイで、内容も少し考えさせられる本です。【フレンチブル】



『蒼穹のアトラス 1、2 アルファベット二十六国誌』

フランソワ・プラス／著

アルファベットからはじまる不思議な国々の物語。美しい挿絵と共にゆっくりと楽しんでほしい本。【五月】

『パスワード謎旅行new』

松原 秀行／著

長年愛されている青い鳥文庫の人気ミステリーです。仲間との初めての旅行、そこで出会う不思議な事件と謎にワクワクします。【名なしの司書】



『もりのえほん』

安野 光雅／著

もりの中をたんけんしてみよう！

『木のきもちカタツムリのきもち』

菅原 たくや／著

森の中に残った一本の木とその木を食べる動物たちのお話です。木と動物たちの力関係があらわれ、いろいろと考えさせられるお話です。【ソラ】

『としょかんライオン』

ミシェル・ヌードセン／著 ・ ケビン・ホークス／画 ・ 福本 友実子／訳

もし図書館にライオンがいたら？びっくりしますよね？でもそのライオンがとてもお行儀の良いライオンなら？とてもこころあたたまる物語です。図書館に足をはこびたくなりますよ。【大人だって児童書を読んでみませんか？】



『わたしはあなたをあいしています ティラノサウルスシリーズ』

宮西 達也／著

この本のシリーズはとても良いです。「あなたをずっとずっとあいしてる」もオススメです。

『おさるのジョージ シリーズ』

M. レイ／原著

有名な『おさるのジョージ』シリーズ！内容も楽しいが一番後ろのページのルール説明やクイズなどがオススメです。【はるさん】

『バナナじけん』

高畠 那生／著

小学校1年生のクラスで読んだところ、大爆笑でした。読み手も、笑わないうようにするのが必死！！こんなことあるはずない。でも、だから事件です。【りんご】

『とらはらパーティー』

シン トンゲン／著 ・ ユン・ヘジョン／訳

とらのお腹の中を好きな形にきりにとって食べるところと、ラストのあっけらかんとした感じがよかったです。【まるん】

『どうぶつドド』

矢野 アケミ／著

たくさんの種類の動物が出てきて、登場するときの“音”が楽しく、お子さんが何回も読んで！と言うかもしれません。【バタコさん】



『わすれられたもり』

ローレンス・アンホルト／著 ・ さくま ゆみこ／訳

わすれたくない気持ちがあります。【i. b. m】

『ジャングルの王さま』

工藤 ハリコ／著

緑とジャングル、自然。【としょかんたろう】

『しましまかしてください』

林 なつこ／著

動物たちの楽しいやりとりのおはなしです。【H】

『エルマーのぼうけん』

ルース・スタイルス・ガネット／著 ・ わたなべ しげお／訳

子どもの頃に読んですごくワクワクしました。
勇気をもらえる本なので是非読んでほしいです。

『ふらいぱんじいさん』

神沢 利子／著

お店を抜け出したふらいぱんじいさん。旅に出たけれど、豹の鏡にされたり砂漠に落とされたり…。大人になってから読むとまた違う面白さです。【春輝】

『どうしてアフリカ？ どうして図書館？』

さくま ゆみこ／著

アフリカ関係の本をたくさん翻訳している著者が、ケニアに子ども図書館をつくったときの出会いを語っています。翻訳されたアフリカの本が巻末に紹介されています。【nann】



『絵本アフリカのどうぶつたち シリーズ』

吉田 遠志／著

ライオンや象などサバンナの動物たちの暮らしが優しいタッチの絵で静かに描かれています。

『ライオン』 動物大せつきんシリーズ

デレック・ジュベール／著

舌のザラザラが確認できるほど大きく口を開けた姿、狩りの様子など、ライオンの生態を迫力のある写真で紹介。子どもも大人も楽しめる本です。【なん】

『サファリ』

松岡 たつひで／著

・ ページをめくりながら、アフリカの国立公園の中を冒険していく本です。たくさんの動物たちに簡単な説明も添えられていて勉強にもなります。【名なしの司書】
・ 「サファリ」って何？がわかる絵本。見開きにたくさんの動物たちが描かれています。【H】

『動物 学研の図鑑ライブポケット 2 』

子どもはどうして動物が好きなのでしょう。名前を覚えることが楽しいからかも知れません。名前を覚えるのに役立つ1冊です。【I】

『動物たちは、お医者さん！』

アンジー・トリウス／著

このシリーズイラストが良いしおもしろい。【山田マン】



『動物たちは、冒険家！』

キム・トマス／著

旅する動物たちの地球規模の旅っぷりが紹介される絵本です。【白川まり】

『サバンナの二つの星』

草山 方兎／著

2頭の雄ライオン、「流れ星」と「白星」の半生を描いた大自然のファンタジー。兄弟で力を合わせて過酷なサバンナを生き抜く姿がカッコイイ！
【Y. N.】

『ドクター・ドリトル 映画版』

N. H. クレインバウム／著

動物の声を聞くことができたなら…。本書はそんな願いを叶えた作品です。かっこいい動物もみんな話し出し、ドリトル先生にやっかいごとをもちかけるのです。【玉】

『ともだちは緑のにおい』

工藤 直子／著

ともだちがいるといろいろなことを考えます。【i. b. m】



『ランパンパン インドのみんな』

マギー・ダフ／著 ・ ホセ・アルエゴ／画

黒い鳥の夫婦が王様に奥さんを奪われて、他のもの達と協力して奪い返しに行く話。



『青い蓮』

エルジェ／著 ・ 川口 恵子／訳

人気絵本「タンタンの冒険旅行」舞台は1930年代の中国です。【i. b. m】

『リトルベアー 小さいインディアンの秘密』

リン・リード・バンクス／著

小さなインディアン、リトルベアーは、主人公のオムリが誕生日にももらったプラスチックの人形。それを本棚の中に入れ、カギをかけると、なんと本物の人間に。ハラハラドキドキのファンタジーです。【玉】

『精霊の守り人』

上橋 菜穂子／著

映像化もされている超大作。架空の世界ですが、オリエンタルな雰囲気があります。世界は単純ではない。重みあるファンタジーです。【りんご】

『アラビアン・ナイト 上・下 新版』

ディクソン／編

幼少期に読みましたが、いろいろお話しがあり、少しミステリアスな感じがします。【ご】

『1つぶのおこめ さんすうのむかしばなし』

デミ／著 ・ さくま ゆみこ／訳

自分の事しか考えない王様から村を救った勇敢でかしこい少女の物語。算数の教育で有名なインドならではの昔ばなしです。【大人だって児童書を読んでみませんか？】



『シェーラひめのぼうけん 魔神の指輪』

村山 早紀／著

砂漠に魔法のじゅうたん、ランプならぬ指輪の魔人。王国を救うため
シェーラひめは魔法のかぎを集めるぼうけんにでます。ワクワクしますよ！
【春輝】

『だれもが知ってる小さな国』

有川 浩／著

佐藤さとるさんが手掛けた「だれも知らない小さな国」から始まる「コロボック
ル物語」シリーズ。その世界を有川浩さんが描きました。佐藤さんの描く世界観を
踏まえつつ、自らの世界観を広げる、誰もが知ってる小人たちの新たな物語です。
【H】



『どうなっているの？だんめん図鑑』

普段の生活で見ているモノの断面がわかります。スマートホン、野球ボール、
カメラなど全部で55品あります。【T】

『ちいさいおうち』

バージニア・リー・バートン／著 ・ 石井 桃子／訳

名作絵本の1つ、静かな田舎にある小さな家。時代が流れても変わらない
おうち、でも周りは……。いつまで経っても色褪せない1冊です。【H】

『バムとケロのおかいもの』

島田 ゆか／著

とにかくイラストがかわいいです。ケロちゃんみたいに自分の好きな物を
探しにおかいものに出かけたくなります。【かいちゃん】



『都会のトム&ソーヤ 1～10』

はやみね かおる／著

- ・全くカラーのちがう2人が都会の真ん中で色々な冒険を繰り広げます。大人になっても是非読みたい物語です！！【大人だって児童書を読んでもみませんか？】
- ・中学生が主人公の街中サバイバルストーリー。いつの時代も少年の心は冒険を求めるトム・ソーヤ。【K】